



## くらし、いのちを大切に市政へ、今年もがんばります

### 【12月議会】

#### 職員ボーナス

**5万5000円減給**

**総額2700万円**

第3回臨時議会が11月24日開催されました。国の人事院勧告により、那珂市職員のボーナスが平均5万5000円減額されました。それと連動して特別職や教育長も下がりました。

木村静枝議員は、「職員の給与が下がれば、またさらに民間の給与が下がる。ますます購買力は落ち、景気に深刻な影響を与える」とただ一人反対しました。

今、需要が落ち込み、安売り競争も激化し、倒産するところも増えていきます。その原因は、労働者の所得が奪われたことにあります。雇用者報酬は1997年の280兆円から、2009年には253兆円へと27兆円も少なくなりました。特に最近の一年間では、たったの一年で約10兆円も落ち込みました。労働法制の規制緩和をすすめ、大企業が労働コストの削減競争に走り、正社員を非正規雇用労働者に置き換え、過酷な賃下げとリストラをすすめる、そして世界経済危機にさ

いしては、残酷な「非正規切り」を競い合ってきたことが、今日の深刻な事態をつくりだしてきたのです。

労働者から吸い上げた金はどこへいったのでしょうか。企業の内部留保（貯金）はこの10年間で急増し、約200兆円から約400兆円へと2倍になりました。大企業が空前の利益をあげても、労働者には分配されず、大企業がため込んでしまったのです。国民の暮らしは豊かにならず、家計と内需は土台からやせ細ってしまいました。そうした日本経済のゆがみともろさが、世界経済危機にさいしても、一気に噴き出し、最も残酷な形で猛威をふるっているのです。これが今起こっている事態です。労働者の賃金を削るのではなく大企業は社会的責任を果してもらいたいものです。

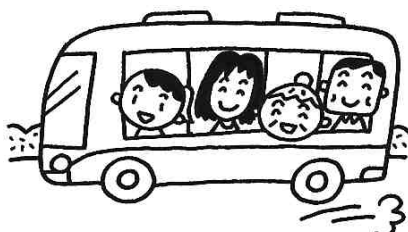


### 福祉循環バスが有料化

平成22年4月から、福祉循環バスが有料化となり、一回乗車で100円になります。定期乗車券や回数券なども検討しているようです。

有料化について「福祉バスを有効に活用し、運行経費もできるだけ抑えながら、利便性の向上をはかるため」としています。最初一回200円、子ども50円の家も出されましたが、議会の声を反映し一回100円になり、子どもは無料となりました。

- ◆現在バス利用者(年間)  
2万4000人～2万5000人
- ◆予算(1人100円)  
240万円～250万円
- ◆市負担 1500万円



### 生活相談

市政への注文、なんでも生活相談、医療、子育て、その他でお悩みの方、お気軽にお電話下さい。個人の秘密は厳守します。

電話 029-298-2064  
那珂市議会議員 木村静枝

# 上菅谷駅計画見直しで 橋上化なし

平成12年度から計画されていた上菅谷駅舎の建替えについて、「見直し」の報告がありました。その理由として、

- ① 上菅谷駅の乗客数は減少の傾向にあり、将来の需要予測を下回る状況にあることから、自由通路の必要性、緊急性が計画時に比べて低下している。
- ② 現在の市の財政状況や整備規模の妥当性（費用対効果）から考えると、整備計画の見直しが必要である。

以上のことから、駅舎の形態についても、橋上化から地平駅舎に計画を変更するとの報告がありました。

◆現計画の当初予算
駅舎 4億4600万円
通路 4億6500万円
◆利用者(1日平均)
1100人
◆昨年利用者 676人
◆変更計画
地平駅舎+公衆トイレ



整備が進む上菅谷駅前

## 一般質問内容が自由に 取り上げられるように

那珂タイムリー「9月議会報告」で取り上げた議員の一般質問内容の制限について、来年度から、どの委員会の所管内容であっても、自由にとりあげられるようになり、本来の形に戻りました。また、議員の数が少なくなったことから、常任委員会が3つに縮小されました。議会広報委員は、内容を充実させるために7名と多くなりました。

## 木村静枝の 一般質問

### 肺炎球菌ワクチン予防接種に 公費助成を

#### 市長「対応するよう指示」

肺炎球菌ワクチン予防接種に対する公費の助成を求める質問は平成18年度に次いで2回目です。前は、「国において有効性、安全性が認められていないので、市単独の助成は行いにくい」ということで実現しませんでした。

しかし今、新型インフルエンザの流行で、治りにくい肺炎の併発も多くなっているという事です。近年、ペニシリンなどの抗生物質が効きにくい肺炎球菌が増加し、30%ないし50%にも及ぶと言われています。肺炎球菌ワクチンは、このような耐性菌にも効果があるということです。また、高齢の慢性肺炎患者にインフルエンザと肺炎の両ワクチンを接種すれば、入院を63%、死亡を81%減らすとの海外報告もあると聞いています。ワクチンの効果は実証済です。高萩市では、60000円の半額30000円を補助しており、過去の実績から人

数を100人と見込み今年30万円の補正予算を組んでいます。

「那珂市でも肺炎球菌ワクチン予防接種に公費助成をしてほしい」と要求しました。

市長は、最初「長妻厚生労働大臣が一生懸命がんばっているようなので期待している。他の市町村の動向を踏まえながら適切に判断していく」と渋っていました。木村議員は「住民の一番身近にいる行政が決断してほしい。30万円ぐらいの予算で命を守ることができないではないか」と迫りました。

市長は「30万円ぐらいなら対応できるのではないかと思うので一応担当課に指示を出していきたい」と前向きな答弁をしました。

## 陳情・請願

- ◎ 教育予算の拡充を求める請願  
全員賛成で採択 意見書を国に提出
- ◎ 改正貸金業の早期完全施行等を求める意見書を政府に提出すること  
ことを求める陳情書  
全員賛成で採択 意見書を国に提出